

教科目標

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

表現や鑑賞の活動において、形や色、材料の感じ、表し方の変化、表現の意図や特徴などを捉えながら、感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどの学習活動を充実する。

形や色などについての気づきを深める事例

- 1 学年 第4学年
- 2 題材名 カードで味わう、形・色
- 3 題材の目標



絵の具などを用いて、好きな色を選んだり、いろいろな形をつくったりしながら表すとともに、形や色について感じたことを話したり、友人の話の聞いたりしながら作品を見ることを楽しむ。

4 言語活動の充実の視点

視点1： 「アートゲーム」を行うことを通して、形や色、イメージなどについて考える。(鑑賞の能力)

5 主な学習活動(全2時間)

時間	学習活動
導入 (0.5)	○「言葉カード」をつくる。 ・思い付いた言葉をカードに記入し、「言葉カード」をつくる。
展開 (0.5)	○「言葉カード」から思い付いた形や色の感じを、「形・色カード」に表す。 ・言葉から思い付いた形や色の感じを、色紙などを切り取ったり、絵の具で描いたりして、「形・色カード」に表す。
まとめ (1)	○「アートゲーム」を行う。 ・自分たちで方法を工夫しながら、「絵合わせ」「言葉合わせ」などの「アートゲーム」を行う。 ・「アートゲーム」のルールは柔軟に考え、自分が感じたことを話したり、友人の話の聞いたりする活動がより充実するようにする。



視点1

【共通事項】の視点

○ 指導計画の作成に当たっては、【共通事項】を視点に、図画工作科で育てようとする資質や能力を具体的に育成するような言語活動の充実を工夫することが重要です。

表現の活動では

○ 発想や構想の能力、創造的な技能を高めるために、考えたことを伝え合ったり、形や色、材料の感じを生かして表現したりする学習を一層重視するようにしましょう。

鑑賞の活動では

○ 鑑賞の能力を高めるために、感じたことや思ったことを話したり、友人と語り合ったりしながら、材料による感じの違い、表し方の変化を捉え、作品などの良さや美しさを感じ取るような指導を充実させましょう。

評価の観点

○ 表現の活動の表したいことや用途などについて考えたことを伝え合ったりする学習活動は、「発想や構想の能力」の観点で評価します。鑑賞の活動の感じたことや思ったことを話したり、友人と語り合ったりする学習活動は、「鑑賞の能力」の観点で評価しましょう。